

阿木小だより



運動会：団長による選手宣誓

10月に入り、ようやく秋めいてまいりました。保護者や地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝いたしております。

また、先日は、運動会で学校まで足を運び、子供たちに多くの拍手や声援を送って力をくださり、本当にありがとうございました。今年は、雨が少なく、運動場での練習も予定通り進めることができたものの、厳しい残暑が続く、例年以上に熱中症対策に配慮を要した取組となりました。そのような中、子供たちは、競技や演技、応援の練習や係の仕事など、精一杯頑張ってきました。諦めずに挑戦したり、繰り返し練習をしたりする姿だけでなく、どうしたらいいかを仲間と考え合う姿もたくさんありました。当日は、その成果を存分に発揮し、前期の集大成としてふさわしい、素晴らしい姿を見せてくれました。当日だけでなく、これまでのご家族の応援が何よりも励ましになったことと思います。ありがとうございました。



前期<99日間>の頑張りを後期へつなぐ

さて、先週で前期が終わりました。終業式では、こんな話をしました。



おはようございます。今日は、前期最後の日です。1年の半分(99日間)が終わりました。4月から6か月間、みんなは、新しいことに挑戦することだけでなく、目標をもって粘り強く頑張ることや、周りの子のことを考えて生活することなど、たくさんのことを大事にしてきました。その成長の姿が、先日の運動会です。自分の競技や演技だけでなく、仲間を一生懸命に応援する姿、そして4~6年生が係の仕事で動き回る姿が、キラキラ輝いていました。器具係や出発決勝得点係の人たちは、競技の合間で走り回っていました。そんな頑張りや支え合いがあふれた運動会は、たくさんの人に感動を与えましたね。ありがとう。

今年も、竹の話をしします。これを見てください。タケノコの皮です。今年の4月、1年生の子が登校中に皮に包まれたタケノコを採って学校にもって来ていました。まだ、1年生の子がかかえられるくらいの大きさでした。それが、みんなと同じ時間を過ごした今、どのくらい大きくなっているでしょう。体育館横の竹藪を見ました。すると、こんなに大きくなっていました。根元には皮がついていて、そこからぐんぐん伸びていったことがわかりました。今はもう体育館の天井についてしまっていますね。竹は、1日に1mくらい伸びる時もあるそうです。毎日、ぐんぐん伸びていきます。そして、まっすぐです。また、しなやかで折れない強さもあります。なぜ、こんなふうに成長できるのでしょうか。昨年もお話ししました。そう、「節」があるからです。ここにいっぱい栄養をため、成長の助けにしています。また、節はまっすぐのびる、風に吹かれてしなってもまた元にもどる支えにもなります。だから、半年もすると、こんな立派な姿になるのです。みんなも同じです。今まで頑張ってきたこと、たくさんあります。だから、「節」を大事にするとぐんぐん伸びていきます。今、前期が終わり、後期をスタートさせる「節目」の時期です。ここで栄養をいっぱいため、これからの力にしてほしいと思います。自分の頑なりに自信がない人は、担任の先生からもらう「子どもの姿」を見てください。みんなの頑なりがいっぱいつまっています。それをお家の人と一緒に見て、自分をいっぱいほめてあげてくださいね。

そして、学級も同じです。学級目標に向かってみんながよく頑張ってきました。どの学級も成長を確かめ合ってきました。それを後期の大事な栄養にし、竹に負けにくいぐんぐん伸びていきましょう。楽しみにしています。

前期頑張ったこと—終業式での発表より—

【2年 みわ こうだい さん】

ぼくが、ぜんきががんばったことは、2つあります。
一つ目は、きょしゅです。べんきょうを、いっぱいがんばりたいと思ったので、きょしゅをがんばりました。とくに、さんすうのじかんに、きょしゅをして、じぶんのいけんが言えたときは、よかったな、と思いました。
二つ目は、じゅぎょうのはじまりのあいさつです。あいさつは、べんきょうがはじまるじゅんぴだから、しっかりやろうと思いました。じゅぎょうのあいさつでだいじなことは、しせいをよくすることだと思いました。あいさつをしっかりやると、きもちがよかったです。
こうきになったら、ぼくはきょしゅやあいさつだけではなく、みんなとなかよくあそぶことをがんばりたいです。

【4年 坂田 深侑 さん】

私が前期にがんばったことは、運動会の実行委員会と図書委員会です。
私は三年生のころ、運動会のためにはたらいていたお兄さん・お姉さんがとてもかっこいいと思っていました。私もそのようになりたいと思って、今年、実行委員会にりっこうしました。
運動会にむけて、係会の時だけではなく、休み時間にも実きょうで話す練習やCDを流すじゅんぴをしました。運動会をよくするために、がんばりました。
四年生になってから、委員会が始まりました。私は、図書委員会に入っています。中休みと昼休みに図書館でスタンプを押したり、スタンプラリーのじゅんぴをしたりするなど、たくさんやるがあります。みんなが気持ちよく本を借りることができるように、がんばりました。
私は後期も委員会をがんばりたいです。なぜかという、委員会の活動は、阿木小学校をさらによくするためにあるのだと気づいたからです。後期も学校をよくしたいので、委員会をがんばりたいです。

【6年 保母 隆士郎 さん】

ぼくが前期に頑張ったことは、三つあります。
一つ目は、委員会です。前期は放送歌声委員会に入りました。ぼくは委員長として、原こうを配りました。休んだ人がいると代理を出したりしてみんなをまとめました。今年、歌声交流会をはじめてやりました。いろいろな学年が大きな声で歌っていて、交流会をやってよかったと思いました。放送では、毎日忘れず、聞く人がしっかりわかるように話すことができました。それは、しっかり練習したからです。放送を通して、練習は大事だと思いました。
二つ目は、勉強です。ぼくは、はじめは、算数のドリルで丸付けを忘れて漢字の読みを書いていなかったりしていました。だけど、宿題は毎日欠かさず行いました。漢字のテストの前は、たくさん練習をしたおかげで、テストに合格できてよかったです。自学は、自分の知らないことを調べてノートにまとめることができるようになりました。これは、しっかり意識して取り組めたからです。これを通して意識する大切さを知りました。
三つ目は、【全力前進】というクラスのスローガンに向けて、「姿、協力、最後まで」を意識して頑張ることです。具体的には、「姿」では、すばやく並び、低学年のお手本となれるようにすることです。「協力」では、一人一人が力を合わせて取り組めるように呼びかけをすることです。「最後まで」は、授業の難しい問題にあきらめずに挑戦することです。クラスでは、キャンペーンを行い、みんなで学級のスローガンに向けて取り組み、前進できました。後期に続けられるように、さらに意識していきたいです。卒業するときには、クラスのスローガンが全員で達成できたと思えるように、全力で頑張りたいです。

コロナウイルス感染症が5類に移行後、教育活動を積極的に以前のように戻し、多くの行事や校外学習、地域の方とふれあう活動を充実させてきました。子どもたちの様子から、改めて人とのふれあいや体験活動の重要性を感じているところです。



後期は、コロナ禍で全国的に問題となってきた「体力・運動能力の低下」にも目を向けていきます。5月に実施したスポーツテストの結果をもとに、本校の子供たちにつけたい力を明らかにし、運動の時間を確保して取り組んでいきますが、日常的に体を動かす中で、「休み時間には外で元気に遊べる子」や「体を動かすことが楽しいと感じられる子」を育てていくことが大切だと考えています。職員一同、試行錯誤しながら取り組んでいきますので、ご理解ご協力をよろしく願います。



表彰

【防火ポスター展】

岐阜県少年消防クラブ運営指導協議会長賞

2年 五嶋 凱理 さん

【こどもけいさつ絵画コンクール】

入選 4年 坂田 深侑 さん

【科学作品東濃地方展】

入選 1年 西尾 結人 さん